【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公開番号】特開2005-326879(P2005-326879A)
【公開日】平成17年11月24日(2005.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2005-046
【出願番号】特願2005-197424(P2005-197424)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｈ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｈ　1/00　１０２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月9日(2009.4.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
利用される内蔵曲が仕向地毎に異なっている電子音楽装置であって、
複数の楽曲データと該複数の各楽曲データ毎にその仕向地を示す仕向地対応データとを対応付けて記憶する楽曲データ記憶手段と、
装置別の仕向地を示す仕向地データを記憶する仕向地データ記憶手段と、
前記楽曲データ記憶手段に記憶された楽曲データにアクセスするアクセス手段と、
前記楽曲データを利用しようとする際、前記仕向地データ記憶手段により記憶された仕向地データに合致する仕向地対応データに対応する楽曲データのみについて、前記アクセス手段によるアクセスを可能とする一方、その他の楽曲データについては前記アクセス手段によるアクセスを禁止するように制御するアクセス制御手段とを備えたことを特徴とする電子音楽装置。
【請求項２】
前記楽曲データ記憶手段は、複数の仕向地用の楽曲データ及び該楽曲データの各々に対応する仕向地対応データのすべてを記憶し、前記複数の仕向地用の電子音楽装置間において、各電子音楽装置に備えられる楽曲データ記憶手段が互いに同一の内容に構成されたことを特徴とする請求項１記載の電子音楽装置。
【請求項３】
複数の楽曲データと該複数の各楽曲データ毎にその仕向地を示す仕向地対応データとを対応付けて記憶した楽曲データ記憶手段と、装置別の仕向地を示す仕向地データを記憶した仕向地データ記憶手段とを備えた電子音楽装置を制御して、利用される内蔵曲が仕向地毎に異なるようにするためのプログラムであって、
前記電子音楽装置を制御するコンピュータに、
前記楽曲データ記憶手段に記憶された楽曲データにアクセスするアクセス手順と、
前記楽曲データを利用しようとする際、前記仕向地データ記憶手段に記憶された仕向地データに合致する仕向地対応データに対応する楽曲データのみについて、前記アクセス手順によるアクセスを可能とする一方、その他の楽曲データについては前記アクセス手順によるアクセスを禁止するように制御するアクセス制御手順とを実行させるためのプログラム。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
上記目的を達成するために本発明の請求項３のプログラムは、複数の楽曲データと該複数の各楽曲データ毎にその仕向地を示す仕向地対応データとを対応付けて記憶した楽曲データ記憶手段と、装置別の仕向地を示す仕向地データを記憶した仕向地データ記憶手段とを備えた電子音楽装置を制御して、利用される内蔵曲が仕向地毎に異なるようにするためのプログラムであって、前記電子音楽装置を制御するコンピュータに、前記楽曲データ記憶手段に記憶された楽曲データにアクセスするアクセス手順と、前記楽曲データを利用しようとする際、前記仕向地データ記憶手段に記憶された仕向地データに合致する仕向地対応データに対応する楽曲データのみについて、前記アクセス手順によるアクセスを可能とする一方、その他の楽曲データについては前記アクセス手順によるアクセスを禁止するように制御するアクセス制御手順とを実行させるためのプログラムであることを特徴とする。